

交運労協 FAX ニュース NO. 9

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル3階 発行日 2019年7月2日

TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570 発行人 高松 伸幸

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

【国民民主党に対し意見・要望を伝える！】

参院選公約「新しい答え2019」について要請！

交運労協は、7月2日13時30分より、国民民主党本部において、同党の参院選公約となる政策パンフレット「新しい答え2019」に係る要請行動を行なった。党から泉健太政調会長が出席するとともに、交運労協からは各構成組織の代表含め12名が出席し、意見交換を行なった。

冒頭、住野議長が挨拶し、「国民民主党は、参院選の公約となる『新しい答え2019』を公表したが、交運労協として看過できない内容が含まれている。とりわけ、『高速道路料金の低料金・上限額制』については、シームレスな公共交通体系の構築に向けて取り組んでいる交運労協の方針と相反するものである。



高齢ドライバーによる死傷事故が大きな社会問題となっている中、運転免許返納者の公共交通への移行が急務である。この政策が実行された場合、渋滞が発生し、トラックやバス運転者の働き方改革にも反する結果となる。また、『新しい答え2019』の内容を知ったのは、新聞報道によってであり、事前に交運労協との間で情報共有がなかったことは、甚だ残念である」と要請の趣旨を伝えた。

続いて、各構成組織の代表が以下のように意見と要望を伝えた。

【JR連合：中村交通政策部長】

平成21年に導入された「高速料金上限千円」により、地方は大きな打撃を受けた。JR四国の場合だと、収入1割減により一時金も1割カットされ、組合員にとって大きなトラウマとなっている。今回の高速料金政策は残念であり、JR連合は、総合交通体系の観点から、各モードのベストミックスが重要であると考えている。

【私鉄総連：池之谷交通政策局長】

「高速道路料金の低料金・上限定額制」は渋滞をもたらし、高速バス・貸切バスのダイヤやドライバーの休憩時間にも影響を与えることになる。このことにより、改善基準告示にも影響することは間違いなく、それらの問題点含めトータルに議論してほしい。

【JR総連：榎本委員長】

国民民主党という党名は、国民・労働者の代表を指すと思っていたが、今回の内容をマスコミ報道で知ったということは、党の軸足がどこを向いているのか疑問である。また、今回の高速料金政策はJR北海道にとっても深刻な問題である。

【海員組合：立川政策局長】

平成21年の「高速料金上限千円」は、瀬戸内の海峡航路や高速道路に並行する航路に大きな影響を与えた。「高速道路料金の低料金・上限定額制」の財源は税から負担することになるが、船員も納税者である。自分たちが払った税が自分達の首を絞めることになる。仮にこのような政策を導入するならば、影響を与える分野への必要な手当と施策を求める。要は、同じ土俵で競争させてほしいということだ。

【自治労：栗原交通組織局長】

「高速道路料金の低料金・上限定額制」は公営交通にも影響することなので、考え直していただきたい。



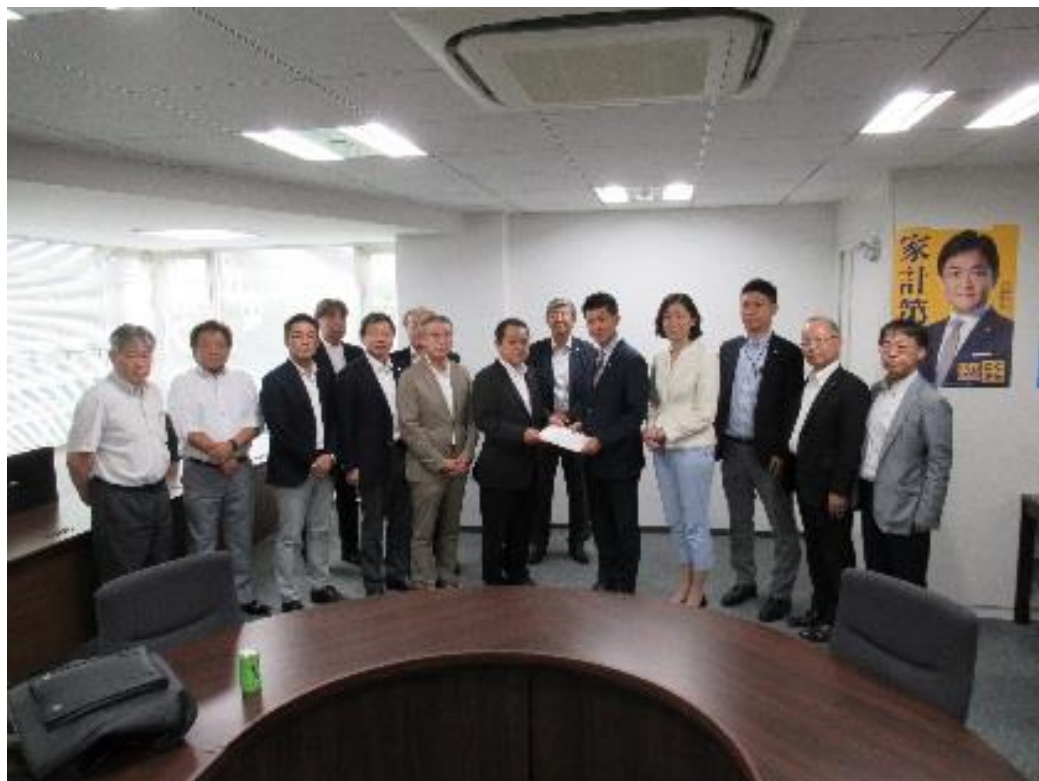
以上の発言を受けて、泉政調会長は、「交運労協の政策推進議員懇談会の事務局次長という立場としても、要請の内容については反省している。旧民主党時代の高速道路料金無料化施策について、当時皆さんから提供していただいたデータなど、過去の経験を引き継げていなかった。『新しい答え2019』は、国民に分かりやすく党の政策を説明するため

のものであり、党のHPには『政策インデックス2019』という様々な政策課題に関する基本的な考え方をまとめたものを掲載している。そこでは、『交通政策基本法に基づき、徒歩、自転車、自動車、鉄道車両、船舶、航空機その他の交通手段が、それぞれの特性に応じて適切に役割を分担し、有機的かつ効率的に連携する中で、国民が自由に選択し、円滑に安全に利用できる環境を目指します』としている。しかし、『高速道路料金の低料金・上限定額制』とは矛盾していると思われると思うので、今後、党内で精査していき

い」と見解を明らかにした。

最後に、住野議長が「まもなく参院選が始まるお忙しい中、このような場を設定していただき感謝申し上げます。泉政調会長のご活躍を期待するとともに、引き続き交運労協として意思疎通を図っていきたい」と述べ、要請行動を終了した。

なお、要請書は別紙の通りである。



以 上